



Beat Holdings Limited
資金調達に関するご報告
Dec.2020

東京証券取引所第2部[9399]

ビート・ホールディングス・リミテッド

取締役会議長
最高経営責任者CEO

松田 元

Executive Summary

エグゼクティブサマリー



資金調達目的

投資業における事業原資の確保、および注力しているブロックチェーン関連事業を拡大させるため。

資金使途

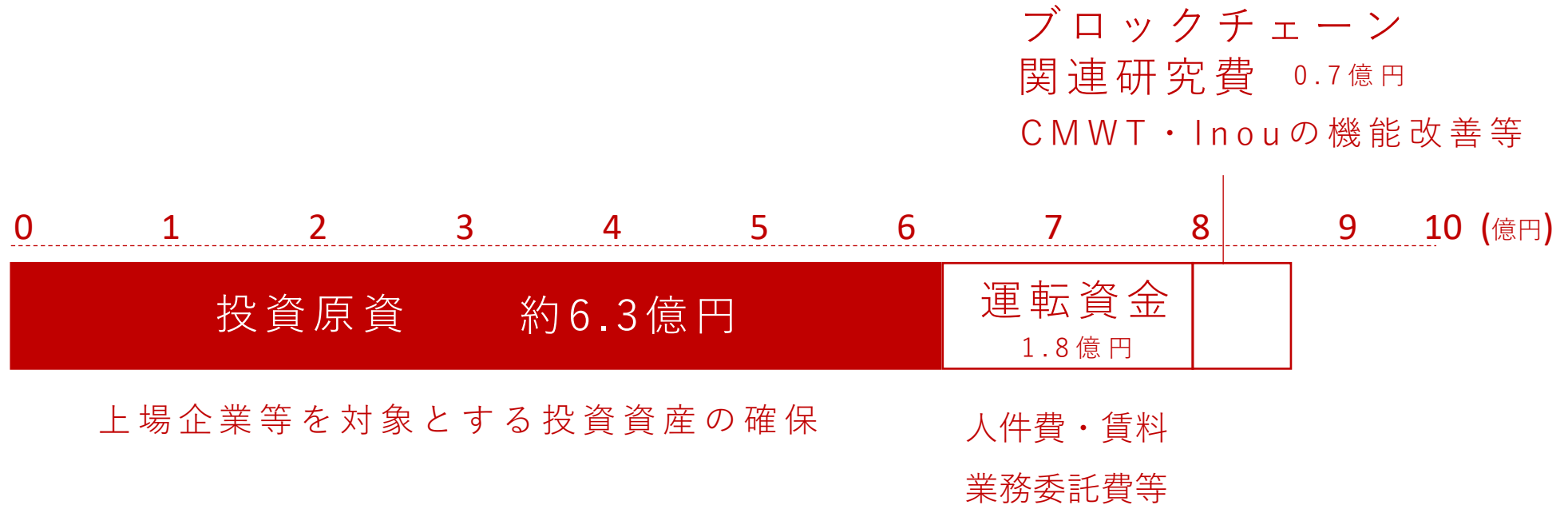
1. 投資原資の確保（約6.3億円）
2. 運転資金(1.8億円)
3. ブロックチェーンに関連する研究開発(0.7億円)

調達手法

Long Corridor Alpha Opportunities Master Fund（LMA）およびMAP246 Segregated Portfolio（MAP246）への行使価額修正条項および行使許可条項付新株予約権(ワラント)の発行。

Usage of Fund

資金用途



Characteristic of the Funding

調達手法の特性



今回の調達概要

	内容
新株予約権発行数	119,000個 増加する潜在株式数(11,900,000株)
発行価額	新株予約権1個あたり75円
手取概算額	約8.8億円
発行日	2020年12月29日

行使許可制

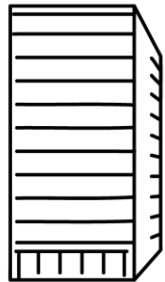
今回の新株予約権は行使許可制となっており、当社が行使数量および時期を一定程度コントロール可能となるため、行使許可条項のないMSワラントと比較して、希薄化をはじめとする市場への影響を与えにくい。

Incorporation of an Investment Company

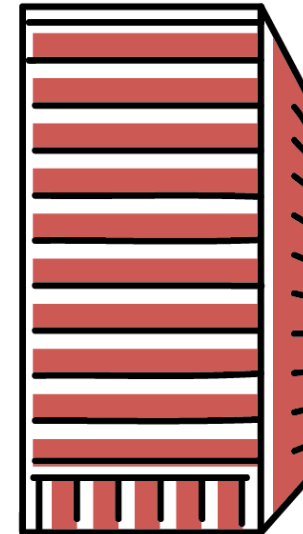
投資会社の新設



- Beat PIPEs Capital (仮称、@香港) を設立し、上場企業ないしこれに準ずる企業の買収によりキャピタルゲイン・インカムゲインの安定的確保を狙う。
- 買収した企業とともに、当社の強みであるブロックチェーン技術を活用した連携サービスを開発し、当該企業のさらなる企業価値増大を図る。当該企業を連結子会社化することによりPLの改善（黒字化）を目指す。



アンダーバリューな企業を
ブロックチェーン技術も
活用し、価値底上げ



Investment Policy

新会社の運営方針



対象事業

当社の既存事業（＝ブロックチェーン、ライセンスング、メディア）とのシナジーが認められる企業数社と既に協議を開始しており、進捗状況に応じ都度開示を行う。

投資資金調達

上場企業等への投資案件が固まらない限り、資金調達（＝行使許可）は原則として行わない。

希薄化を最小限にとどめながら、当グループの企業価値・株主価値を最大限高めていく**着実な投資および経営**を行ってまいります

本資料は、情報の提供を目的に制作したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている当社の今後の定性的・定量的見通しに関しましては、現時点の情報に基づき当社で判断したものです。本見通しは、内的・外的要因によって変動する場合がございますのでご留意ください。